

テーマ：新しい時代の“SHIN化”するレシピ～あいちから～

※各枠の大きさは変更可。配置の変更不可。



親子で、里芋・スコッピコロッケ	みりんの魅力伝え隊
-----------------	-----------

材料（4人分）	
<タネを作る>	
・里芋（親芋） 300g ・里芋（子芋） 100g ・みりん粕 15g	】(A)
・合挽肉 150g ・玉ねぎ 100g ・サラダ油 12g ・塩 1.5g ・コショウ 適宜 ・みりん 大さじ1	】(B)
<コロッケの種の味変化>	
・ピザ用とろけるチーズ 50g ・カレー粉 2g (小さじ1)	
<野菜の層と飾り>	
・キャベツ 150g (千切り) ・ほうれん草 60g ・ミニトマト 3個 ・卵 3個	
<揚げないパン粉>	
・パン粉 30g ・サラダ油 12g	
<ソースと飾り>	
・ケチャップ 30g ・パセリ 少々	
2人分の値段 ￥ 806円	

学校名 愛知学院大学	コラボの理由（きっかけ、経緯、想い等） 最近、「腸活」「脳腸相関」という言葉が話題になっています。わが国の昔ながらの発酵食品の魅力・大切さを食育に展開したいと思い、大学ゼミの先輩が愛知県三河の九重味淋株式会社に就職されていましたため、その素晴らしいみりんを活用させていただくレシピを考案しました。
参加者名（3名） 後藤 優里 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	※大会公式HP等における御名前の公表について、どちらかにチェックしてください。不可の場合、御名前の公表はいたしません。
内山 沙耶 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	
濱岡 瑜華 <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	
いいともあいちネットワーク会員名（企業名・生産者名等） 九重味淋株式会社	アピールポイント（例：どの部分が“SHIN化”したか。地産地消を意識してどのような食材を使用したか。等） 私たちが提案するレシピは4つのSHIN化に着目しました。 ① 一つ目の「斬化」の部分では、コロッケの下味にうま味・甘味として「みりん粕とみりん」が加わっていることです。また、通常のコロッケとは違い、揚げないコロッケでおいしさをキープしつつ、カロリー、脂質をダウンしています。 さらに、SDGsを意識して、普段捨てられる部分の親芋やみりん粕を使用しています。 ② 二つ目の「進化」の部分では、通常のスコッピコロッケではなく、3種類の野菜やチーズ、ゆで卵を飾り層（ミルフィーユ状）にしたことです。芋だけではなく、野菜もたっぷり入りましたが、発酵食品であるみりん・みりん粕でおいしくなった里芋はブレンダーにかけることで纖維感もなくなり食感がねっとり・とろりとしていてとてもマッチしています。 ③ 三つ目の「深化」の部分では、この里芋のスコッピコロッケには通常の小芋（子芋）だけでなく、纖維が多く硬い親芋が入っており、「我が国の里の味を親子そろって仲良く食べてほしい」という願いを加えて、大きめの食器（直径15cm×深さ8cm）で作りあげました。ケーキのようにきれいでわくわく感があり、家族で楽しく分けて食べられるコロッケです。そろって「食する家族」が増えるよう願いを込めました。 ④ 四つ目の「伸化」の部分では、愛知の農産物である冬キャベツ、栄養価の高い冬のホウレンソウ、「道の駅瀬戸しなの」の農業生産者である80代の女性が一生懸命作られた里芋と親芋をいただき、「みりん・みりん粕」を加えました。みりんは江戸時代から一貫した製法を守り作られている「九重味淋株式会社」とコラボさせていただき、地産地消を図りました。みりんは砂糖と比べ、さっぱりとした甘みに加えてコクも出ました。